



平成 25 年 11 月 8 日

各位

会 社 名	株式会社ディー・ディー・エス
代 表 者	代表取締役社長 三吉野 健滋 (東証マザーズ・コード番号 3782)
問合せ先	取締役管理担当 貞 方 渉
電話番号	0 5 2 - 9 5 5 - 5 7 2 0 (URL http://www.dds.co.jp)

新株式発行等に関する資金使途の優先順位および支出時期変更のお知らせ

当社は平成 25 年 9 月 3 日付「第三者割当により発行される第 3 回新株予約権の発行及びコミットメント条項付第三者割当契約の締結に関するお知らせ」にて開示致しました調達する資金の使途及び支出予定時期について、下記の通り変更する事といたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 変更理由及び内容

平成25年10月16日付「シナプティクス社によるバリディティセンサーズ社(当社株式保有先)の買収に関するお知らせ」の通り、当社の重要な提携先であるバリディティセンサーズ社(以下「バリディティ社」)がシナプティクス社に買収される事となりました。シナプティクス社は、米国本社で米国NASDAQ市場に上場している、PCやスマートフォン向けのタッチパネルやタッチパッドを販売している会社です。

一方で、現在の新株予約権の行使状況については、10月3日および11月1日に開示したとおり、合計金額が785百万円となっており、現段階においては全ての資金使途を一度に満たせる状況ではありません。

シナプティクス社傘下に入った後のバリディティ社は、経営陣が刷新される可能性もあり、経営方針に変更が生じる可能性もあることから、変更の状況次第では、当社の研究開発等に追加資金を投下する等資金使途の変更が発生する可能性があります。例えば、アップル社によるオーセンテック社買収後の対応の様に、外部へのセンサー供給を廃止するなどの措置を取られた場合には、当社の販売する指紋リーダーも製造できなくなるため、代替品を新たに開発する必要があります。

したがって買収後の経営方針等が明らかになるまでの間は、状況の推移を見守る必要があり、資金を留保すべきと判断したため、優先順位および支出予定時期の変更を行うものであります。

今回は、優先順位および支出時期の変更であり、資金使途の変更はありません。新株予約権の行使が全て完了した場合には、当初の開示と同じ結果となります。

2. 変更の内容

変更後に最優先とする借入金の返済先であるCybertouch-tech Co Ltd社(「CTT社」)は、平成24年9月24日に第三者割当増資により資本業務提携を行った会社であります。平成25年10月21日に開示した「主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」にて開示したとおり、株式を売却し、当社との資本提携については解消しております。

平成24年11月16日に開示したとおり当社はCTT社から250百万ドルの借入を行っており、返済期限は平成26年11月ですが、借入の際にバリディティ社株式を担保として設定していたため、シナプティクス社によるバリディティ社の買収に伴う手続き上、返済が必要になりました。

その結果、当初、優先順位の4番目は、返済期限までの間の為替リスクを回避するため、外貨預金とする予定でしたが、今回の変更により、優先順位を1番目に変更し、返済を行うものであります。

また、借入金の返済の中には、留保する予定の平成26年4月以前に返済期限の借入金があるため、金利負担の軽減のため早期返済をするものであります。

変更の内容は以下のとおりです。

調達する資金の具体的な使途（変更前）

具体的な使途	金額（百万円）	支出予定時期
① 長期未払金の支払	480	平成25年10月
② 借入金の返済	803	平成25年10月
③ バイオメトリクス事業の人材強化及び研究開発	291	平成25年9月 ～平成27年12月
④ 外貨預金（注2）	250	平成25年10月 ～平成26年11月
⑤ 運転資金	残額	平成25年10月 ～平成26年12月

（注）上記、各資金使途は優先順位の順に記載しております。

（注2）平成26年11月に返済する予定のCTT社からの借入れについて、返済期限までの間の為替リスクを回避する目的で外貨預金をするという内容です。

調達する資金の具体的な使途（変更後）

具体的な使途	金額（百万円）	支出予定時期
① CTT社借入金の返済（※上記、外貨預金に該当）	250	平成25年11月
② 借入金の一部返済	100	平成25年11月
③ 長期未払金の支払	480	平成26年4月 ～平成27年12月
④ 借入金の残り分の返済	703	平成26年4月 ～平成27年12月
⑤ バイオメトリクス事業の人材強化及び研究開発	291	平成26年4月 ～平成27年12月
⑥ 運転資金	残額	平成26年4月 ～平成26年12月

（注）上記、各資金使途は優先順位の順に記載しております。

3. 今後の見通しと影響

今回優先順位および支出時期が変更されるだけであるため、本変更による今期決算への影響は軽微であります。

以上